

# ヒメハマベエンマムシ コウチュウ目エンマムシ科

*Hypocacculus (Nessus) asticus* (Lewis)

石川県カテゴリー 準絶滅危惧

国カテゴリー なし

## 選定理由

本種はハマヒルガオの分布する海浜植物帯に生息するが、もともと個体数が少ないうえに、さまざまな開発行為による海浜植物帯の減少が、本種の生存に大きな影響を与えている。

## 形態

体長2.1~2.4mm。前頭一面に細かい皺を持つことで他の海浜性エンマムシ類と区別できる。

## 国内分布

本州、四国、九州に分布するが全国的に記録は少なく、その分布は局所的である。

## 県内分布

文献記録は、1964年5月にかほく市（旧宇ノ気町）で採集された1例のみである。近年は2007年6月に羽咋市一ノ宮海岸で確認されたに過ぎない。このように分布は局所的で、個体数もかなり少ない。

## 生態

県内では成虫は初夏に確認されている。ハマヒルガオなどの海浜植物の根際深くに生息し、他の海浜性エンマムシ類のように砂浜帯に打ち上げられた動物性腐敗物の下から見いだされることはほとんどない。

## 生息地の条件

ハマヒルガオなどの海浜植物帯があること。

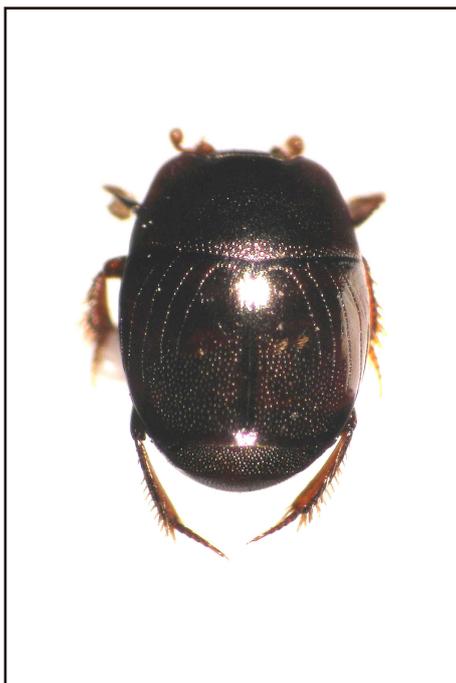
## 生存の危機

さまざまな開発行為、護岸工事により海浜植物帯が減少することは、本種の生息場所が減少することを意味しており、本種の生存にとって大きな脅威となる。(A)

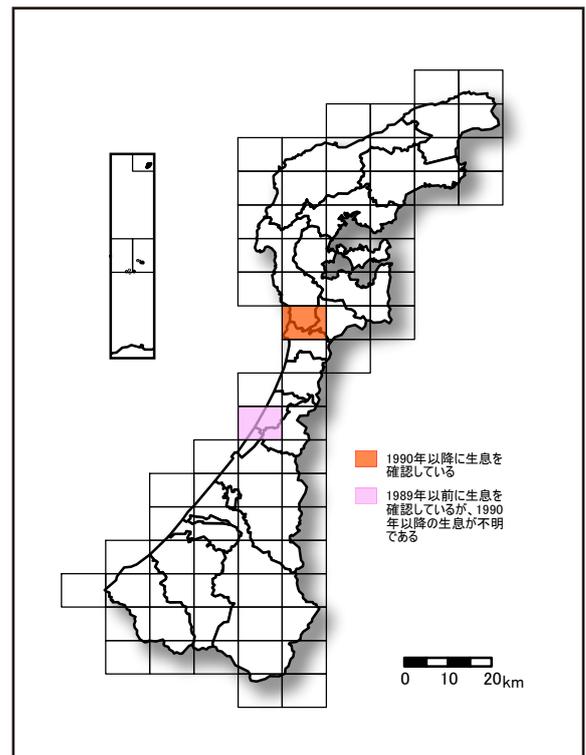
## 参考文献

大原昌宏 1998. 日本産エンマムシ上科概説Ⅷ. 甲虫ニュース, (121) : 1-6.

大原昌宏 2004. 海浜性エンマムシ. 昆虫と自然, 39 (12) : 12-15.



標本提供者: 吉道俊一



県内の分布